

道路関係物流施策と「2020年代の総合 物流施策大綱に関する有識者検討会」 提言骨子(案)の対応関係について

国土交通省 道路局
令和2年11月

1. 幹線物流対策

道路関係物流施策	①物流DXや物流標準化によるサプライチェーン全体の徹底した最適化（簡素で滑らかな物流の実現）	②トラックドライバーへの時間外労働規制も見据えた労働力不足対策の加速と物流構造改革の推進（担い手にやさしい物流の実現）	③強靱性と持続可能性を確保した物流ネットワークの構築（強くしてしなやかな物流の実現）
1-1 ダブル連結トラック・隊列走行の普及・実現			
<ul style="list-style-type: none"> ・休憩施設の駐車マスの拡充、駐車場予約システムの導入 ・隊列走行の実現に向け、新東名・新名神の6車線化やインフラ支援を推進 		<ul style="list-style-type: none"> ○ トラックドライバーの時間外労働時間の上限規制を遵守するために必要な労働環境の整備・取引環境改善に向けた取組 ・ダブル連結トラックやスワップボディコンテナ車両の活用、中継輸送やモーダルシフトなど労働環境改善に資する幹線輸送のさらなる推進（8ページ、16行目） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症や大規模災害の発生時等有事においても機能する、強靱で持続可能な物流ネットワークの構築 ・ポストコロナ時代における非接触や非対面、デジタル化等に対応した物流インフラの整備（「ヒトを支援するAIターミナル」の各種取組の推進、自動配送ロボや自動運転・隊列走行等を見据えた道路整備、交通渋滞対策、老朽化した物流施設の更新・高機能化による生産性向上等）（9ページ、24行目）
1-2 物流基幹ネットワークの機能強化			
<ul style="list-style-type: none"> ・三大都市圏環状道路の整備や三大都市圏をつなぐダブルネットワーク整備等、根幹的な道路網の整備を推進 ・重要物流道路について、重点支援・投資を展開 ・交通・物流拠点とのネットワークのアクセス強化 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 我が国産業の国際競争力強化や持続可能な成長に資する物流ネットワークの構築 ・産業の国際競争力に資する道路・港湾等のインフラ整備の強化（重要物流道路の拡充などトラックの大型化に対応した道路機能強化、ミッシングリンクの解消、暫定二車線区間の四車線化、国際コンテナ戦略港湾の機能強化等）（10ページ、2行目） ○ 感染症や大規模災害の発生時等有事においても機能する、強靱で持続可能な物流ネットワークの構築 ・サプライチェーンの強靱化に向けた鉄道や港湾など物流の結節点における連結性の充実や、物流拠点施設の運用改善（生活必需品供給に向けた物流拠点基地化、在庫情報のデータ共有等）（9ページ、30行目）

1. 幹線物流対策

道路関係物流施策	①物流DXや物流標準化によるサプライチェーン全体の徹底した最適化 (簡素で滑らかな物流の実現)	②トラックドライバーへの時間外労働規制も見据えた労働力不足対策の加速と物流構造改革の推進(担い手にやさしい物流の実現)	③強靱性と持続可能性を確保した物流ネットワークの構築(強くしてしなやかな物流の実現)
1-3 ICT等を活用した特車通行許可の迅速化			
・あらかじめ登録を受けた特殊車両が、即時にウェブ上で確認した通行可能経路を通行できる新たな制度を創設	○ 物流のデジタル化推進 ・デジタル化を前提とした規制緩和や手続の特例の検討(特殊車両の通行手続きの迅速化等)(7ページ、12行目)		

2. 都市内・ラストマイル物流対策

道路関係物流施策	①物流DXや物流標準化によるサプライチェーン全体の徹底した最適化(簡素で滑らかな物流の実現)	②トラックドライバーへの時間外労働規制も見据えた労働力不足対策の加速と物流構造改革の推進(担い手にやさしい物流の実現)	③強靱性と持続可能性を確保した物流ネットワークの構築(強くしてしなやかな物流の実現)
2-1 荷捌き駐車対策			
<ul style="list-style-type: none"> ・貨物集配中の車両に係る駐車規制の見直しについて、道路管理者において交通実態を踏まえ協力推進 ・EC拡大による宅配需要増加に対応した荷さばき対策の推進 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存リソースの活用やシェアリングなど労働生産性の改善に向けた取組 ・ラストワンマイル配送円滑化の推進(路上荷さばき対策、自動配送ロボットの実用化の推進等)(8ページ、32行目) 	
2-2 道の駅等を拠点とした自動運転サービス			
<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転に対応した道路空間の基準等を整備 ・社会実装に向けた自治体等の取組を支援 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症や大規模災害の発生時等有事においても機能する、強靱で持続可能な物流ネットワークの構築 ・ポストコロナ時代における非接触や非対面、デジタル化等に対応した物流インフラの整備 (「ヒトを支援するAIターミナル」の各種取組の推進、自動配送ロボや自動運転・隊列走行等を見据えた道路整備、交通渋滞対策、老朽化した物流施設の更新・高機能化による生産性向上等)(9ページ、24行目)

3. 幹線・都市内物流共通の対策

道路関係物流施策	①物流DXや物流標準化によるサプライチェーン全体の徹底した最適化(簡素で滑らかな物流の実現)	②トラックドライバーへの時間外労働規制も見据えた労働力不足対策の加速と物流構造改革の推進(担い手にやさしい物流の実現)	③強靱性と持続可能性を確保した物流ネットワークの構築(強くてしなやかな物流の実現)
3-1 ポストコロナ時代の物流への対応			
<ul style="list-style-type: none"> ・休憩施設の駐車マス数の拡充、駐車場予約システムの導入(再掲) ・EC拡大による宅配需要増加に対応した荷さばき対策の推進(再掲) 		<ul style="list-style-type: none"> ○ トラックドライバーの時間外労働時間の上限規制を遵守するために必要な労働環境の整備・取引環境改善に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ダブル連結トラックやスワップボディコンテナ車両の活用、中継輸送やモーダルシフトなど労働環境改善に資する幹線輸送のさらなる推進(8ページ、16行目) ○ 既存リソースの活用やシェアリングなど労働生産性の改善に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ラストワンマイル配送円滑化の推進(路上荷さばき対策、自動配送ロボットの実用化の推進 等)(8ページ、32行目) 	
3-2 渋滞対策			
<ul style="list-style-type: none"> ・ICTやAI等を活用した交通マネジメントの強化 ・交通流を最適化する料金・課金施策の導入検討 ・大型商業施設等による渋滞対策の強化 ・ETC2.0に加え、多様なセンサーやAI等をフルに活用した、効果的なピンポイント渋滞対策の強化 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症や大規模災害の発生時等有事においても機能する、強靱で持続可能な物流ネットワークの構築 ・ポストコロナ時代における非接触や非対面、デジタル化等に対応した物流インフラの整備 <ul style="list-style-type: none"> (「ヒトを支援するAIターミナル」の各種取組の推進、自動配送ロボや自動運転・隊列走行等を見据えた道路整備、交通渋滞対策、老朽化した物流施設の更新・高機能化による生産性向上等)(9ページ、24行目)

3. 幹線・都市内物流共通の対策

道路関係物流施策	①物流DXや物流標準化によるサプライチェーン全体の徹底した最適化(簡素で滑らかな物流の実現)	②トラックドライバーへの時間外労働規制も見据えた労働力不足対策の加速と物流構造改革の推進(担い手にやさしい物流の実現)	③強靱性と持続可能性を確保した物流ネットワークの構築(強くてしなやかな物流の実現)
3-3 防災・減災対策			
<ul style="list-style-type: none"> ・重要物流道路等の防災・減災対策 ・発災後の迅速な復旧活動や避難を可能にする取組を推進 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症や大規模災害の発生時等有事においても機能する、強靱で持続可能な物流ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・物流を支えるインフラや各輸送モードの安全性の確保(9ページ、33行目) ○ 感染症や大規模災害の発生時等有事においても機能する、強靱で持続可能な物流ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時の物資輸送のあり方検討(フェリー、RORO船、コンテナ船等の就航環境整備によるリダンダンシー確保、平時からの連携体制確保等)(9ページ、28行目)

3. 幹線・都市内物流共通の対策

道路関係物流施策	①物流DXや物流標準化によるサプライチェーン全体の徹底した最適化(簡素で滑らかな物流の実現)	②トラックドライバーへの時間外労働規制も見据えた労働力不足対策の加速と物流構造改革の推進(担い手にやさしい物流の実現)	③強靱性と持続可能性を確保した物流ネットワークの構築(強くしてしなやかな物流の実現)
3-4 老朽化対策			
<ul style="list-style-type: none"> ・予防保全を前提としたメンテナンスの計画的な実施、新技術の導入等による長寿命化・コスト縮減等の取組強化 ・過積載車両撲滅のため、WIMIによる自動取締りの強化等 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症や大規模災害の発生時等有事においても機能する、強靱で持続可能な物流ネットワークの構築 ・ポストコロナ時代における非接触や非対面、デジタル化等に対応した物流インフラの整備 (「ヒトを支援するAIターミナル」の各種取組の推進、自動配送ロボや自動運転・隊列走行等を見据えた道路整備、交通渋滞対策、老朽化した物流施設の更新・高機能化による生産性向上等) (9ページ、24行目) ・物流を支えるインフラや各輸送モードの安全性の確保 (9ページ、33行目)
3-5 ETC2.0を活用したトラック輸送効率化			
<ul style="list-style-type: none"> ・ETC2.0データの官民連携での活用等によりトラック輸送の生産性向上を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 労働力不足や非接触・非対面型の物流に資する自動化・機械化の取組 ・ドローン、自動運転・隊列走行、自動運転トラック・運行管理システム、自動配送ロボ等の新技術の実用化に向けた取組 (7ページ、19行目) 		